

11月22日（水）、2年4組で国語科の努力点公開授業が行われました。

単元は、『『クラスお楽しみ会』をひらこう』です。2学期の終わりに学級で行う「お楽しみ会」で、どんな遊びをしたいかを話し合います。その中で、友達の意見や質問を最後まで聞き、答えられるようにすることが目標です。

初めに、「話型カード」を使って、意見や感想、質問の仕方を確認しました。意見を言うときには理由も併せて話すことで伝わりやすくなることを確認しました。また、発言する際には、友達の気持ちを考え、否定的な言葉を使わないようにすることを押さえました。そうすることで、児童が進んで発言できる雰囲気をつくりました。さらに、話す人は「お話札」を持って話すことにしました。「お話札」とは、今から自分が何について話すかを示す札のことで、「意見」「感想」「質問」の3種類あります。「お話札」を使うことで、「お話札」を持っていない児童は聞くことに徹し、友達の話を最後まで聞くことができます。



【「お話札」の説明をする教師】

次に、友達の意見や感想、質問に対する返し方を確認しました。2年4組では、朝のスピーチで、話し手が話した後、聞き手が感想や質問を言って終わるのではなく、話し手がそれらに返すという活動をしています。それは、児童の間で会話のキャッチボールが続くようにしたいという担任の思いがあるからです。今回の授業でも、意見や感想を言い合うことができるようにしたいと考えました。

いよいよ、話し合いです。グループに分かれて、どんな遊びをしたいかを話し合います。話す人は自分の意見を理由も併せて話し、聞く人はそれに対して意見や感想を言ったり、質問をしたりすることができました。どの児童も、友達の気持ちを考えた発言で、「～と思います」や「どうして～ですか」と、丁寧な言葉遣いで話すことができました。



【「お話札」を持って質問する児童】

最後に、学習の振り返りをしました。児童からは、「フルーツバスケットが多かったです」や「いろいろな意見が聞けてよかったです」という話し合いの振り返りだけでなく、「〇〇さんは、一番多く質問をしていました」や「□□さんの話はとても聞きやすかったです」など、友達のよさについても共有することができました。



【話し合いの振り返りをする児童】

「話すこと・聞くこと」は、1回や2回の授業で身に付くものではなく、朝のスピーチや、日頃の授業での発表などによって培われるものです。毎日の支援によって、児童は今回のような話し合い方や丁寧な言葉遣いができるようになったのだと思います。